

慢性硬膜下血腫手術を受けられる方へ

患者名: \_\_\_\_\_ 様 家族: \_\_\_\_\_ 様

下関市立市民病院

病名: \_\_\_\_\_ H27年11月12日作成

	月 日	月 日	月 日		月 日	月 日	月 日	月 日
	入院日	手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2～3日目	術後4日目以降	退院
目標	手術の必要性、内容が理解でき、入院の経過が理解できる。		医師の指示した安静を守ることができる。		手術中に入れた管(ドレーン)が抜け、歩行することができる。	手術前と比べ、手や足の動きが良くなる。		退院後の生活が理解できる。
診察・治療・検査	麻酔科の医師による診察があります。手術部の散髪をさせていただきます。		手術後、翌朝まで手術をした部分に管(ドレーン)が入っています。心電図の電極・コードが体に入っています。おしこの管が入っています。		頭のCT写真を撮り、異常がなければ手術中に入れた管(ドレーン)を抜きます。朝、採血と採尿があります。	麻痺や体の動きにくさがある場合にはリハビリが開始となります。	手術をした傷口がふさがれば抜糸を行います。	頭のCTを撮影し、主治医の許可があれば退院です。
内服・点滴	現在、服用されている薬はすべて看護師お預けください。医師の指示により継続または中止を看護師より説明します。		翌朝まで点滴が続きます。		手術翌日から、手術後3日目まで抗生剤の点滴があります。			
安静	麻痺や動きにくさがなければ、安静の制限はありません。		手術後は、手術をした部分に管(ドレーン)が入っています。管から血液が出るため、自分で起き上がりや自分で触ってしまうと管が抜けたり、出血を起こすことがあるため、必要に応じて抑制をさせていただくことがあります。看護師の指示に従うようお願いいたします。		頭のCT撮影後、管(ドレーン)が抜けてから、症状に合わせて少しずつ動いて頂きます。動く範囲については看護師の指示に従うようお願いいたします。	麻痺や動きにくさがなければ、安静の制限はありません。		
食事	特別な栄養管理の必要性 有・無 飲み込みのテストをさせていただきます。飲み込みに異常がなければ普通食ですが、お体の状態に合わせて治療食となる場合もあります。	食べたり、飲んだり は できません。		麻酔がしっかり覚めるまでは飲んだり食べたりできません。医師の指示により食事が開始となります。		手術前と同じように食べたり、飲んだりすることができます。		
清潔	手術の開始時間により、手術前日、または手術当日の朝に入浴、または清拭をさせていただきます。				看護師が体を拭かせていただきます。	首から下はシャワーを浴びることができます。	医師の指示により頭も洗うことができます。	
説明・相談	医師より手術の説明があります。		義歯・コンタクトレンズ・指輪等の貴金属類は外しておいてください。		医師より家族の方へ説明があります。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻痺や体の動きにくさの改善には個人差があります。転倒・転落防止のため、移動の際には医師や看護師の指示に従ってくださいようお願いいたします。</li> <li>・手術後、麻痺等により継続的なリハビリテーションが必要となる患者様には、リハビリを専門的に行う病因へ転院して頂くこととなります。ご不明な点は医師や看護師にお尋ねください。</li> </ul> ※保険、証明書等の必要な方は1階10番窓口に提出ください。	

準備していただく物

バスタオル 1枚 タオル 2枚 ティッシュ 1箱  
薬のみ、またはストロー 寝衣(浴衣)〈リースもあります〉

1つずつ名前を記入し紙袋にひとまとめにしておいて下さい。

主治医: \_\_\_\_\_

受持ち看護師: \_\_\_\_\_